

# 原子炉 土台損傷ほぼ全周か

東京電力は4日、炉心溶融事故を起こした福島第1原発1号機の原子炉格納容器の内部調査を受けて、原子炉圧力容器を支えている

## 福島第1原発

円筒形の土台（ペデスタル）の下部のコンクリートが溶けて鉄筋がむき出しになっている状況が、内壁のほぼ全周にわたっているとい



1号機内部調査について公開された動画から＝3月30日（国際廃炉研究開発機構提供）

## 耐震性評価の仮定超える可能性も

「ペデスタルが一部欠損している」と説明している」と説明している。また、IRIDの調査で、内壁の損傷が表面から4分の1ほどの深さにとどまると仮定して解析したもので、現時点で映像では深

さ方向にどのくらいまでコンクリートが失われているのかははっきり見えていませんが、耐震性評価の仮定より深刻な損傷を受けている可能性も否定できないことが明らかになりました。

東電はこの日、今回この調査で取得したデータをもとに独自の評価を進めますが、数カ月間はかかるかと説明しています。

東電は、投入した水中口ボットが撮影した動画約39時間分のうち約5分間の映像を公開しました。

などの評価を根拠に「ペデスタルが一部欠損している」と評価して

ペデスタルは鉄筋コンクリート製で、外径7・4メートル、内径5・4メートル。これまでの調査で、外壁の一部や内壁の広範囲の領域でコンクリートが溶けて鉄筋がむき出しになっている様子が確認されました。厚さ1・2メートルの内壁の中央部にある鋼製の部材が見えているところもあることから、コンクリートが半分以上の深さまで失われている可能性も出てきました。

東電は、投入した水中口ボットが撮影した動画約39時間分のうち約5分間の映像を公開しました。

東電は、投入した水中口ボットが撮影した動画約39時間分のうち約5分間の映像を公開しました。

東電は、投入した水中口ボットが撮影した動画約39時間分のうち約5分間の映像を公開しました。